

Mr. Hieu

地盤調査報告書です。
独立したファイルで、SJSのダッシュボードから呼び出します。（これから作成）
物件IDをキーに、データを保存、読み出しをします。

HTMLファイルを作っておきましたので、
チェックボックス、text input を実装してください

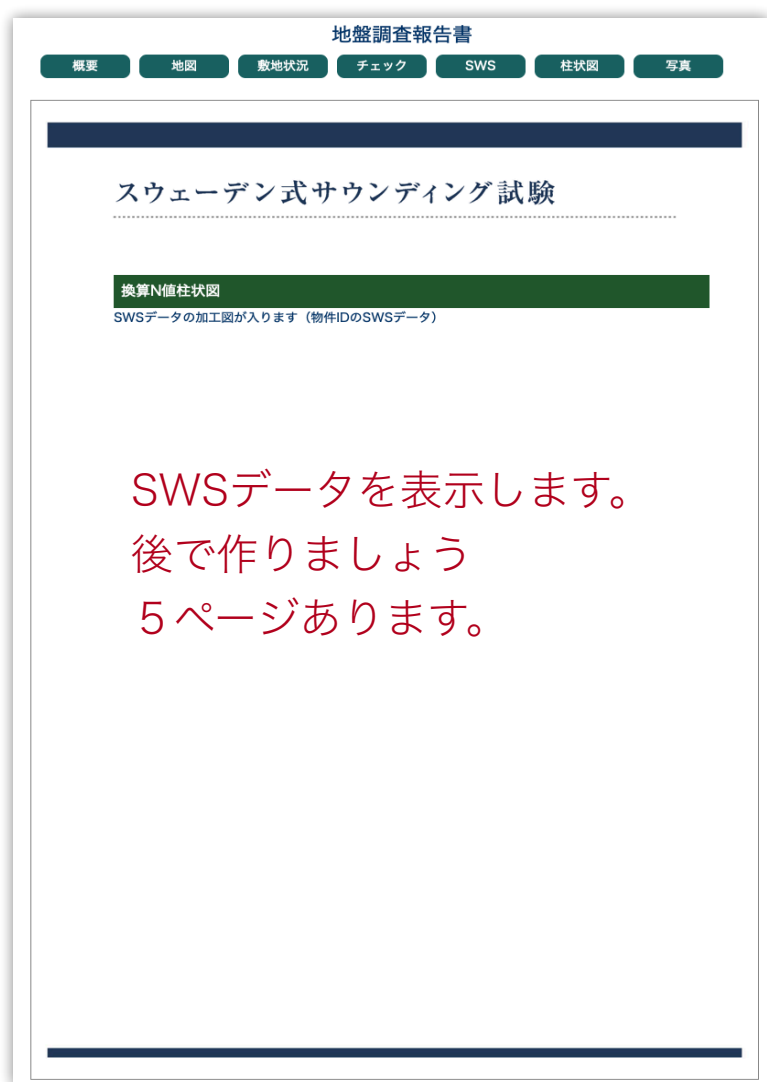
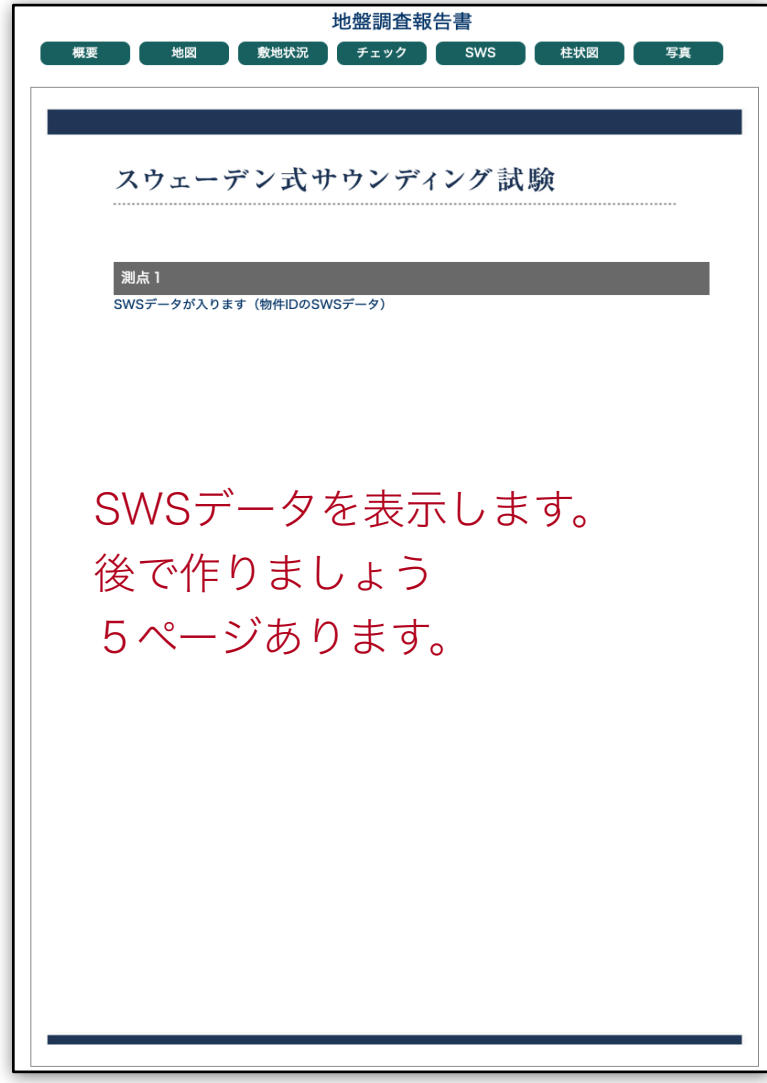
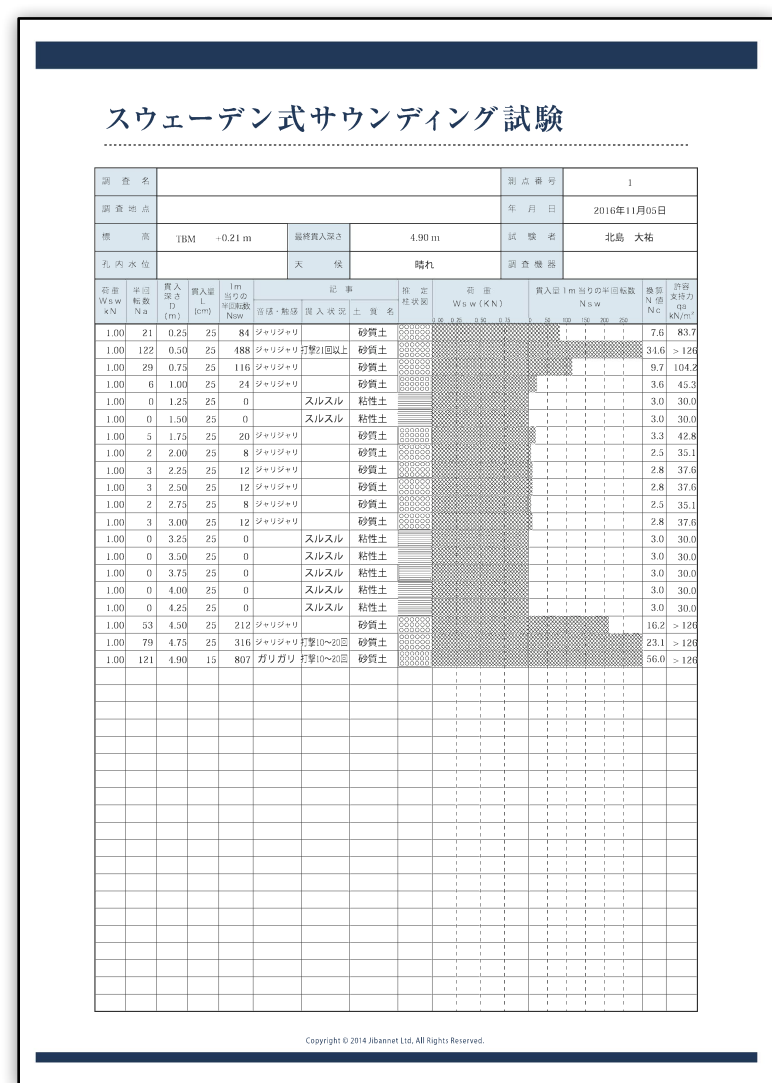
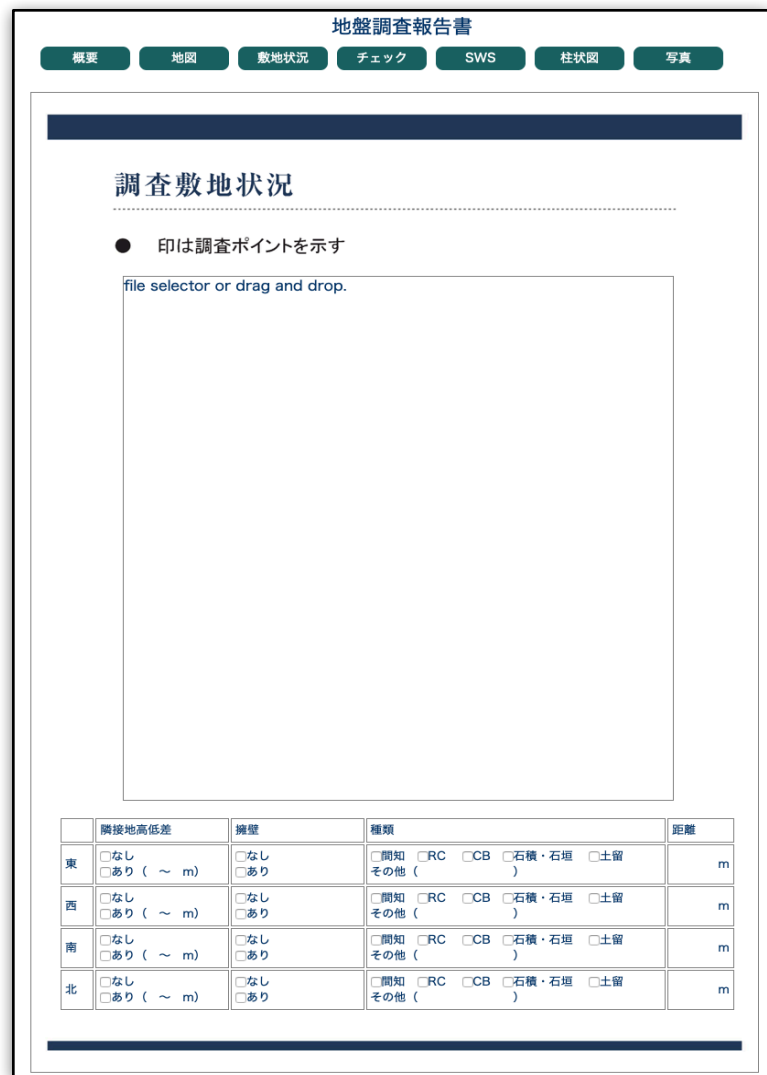
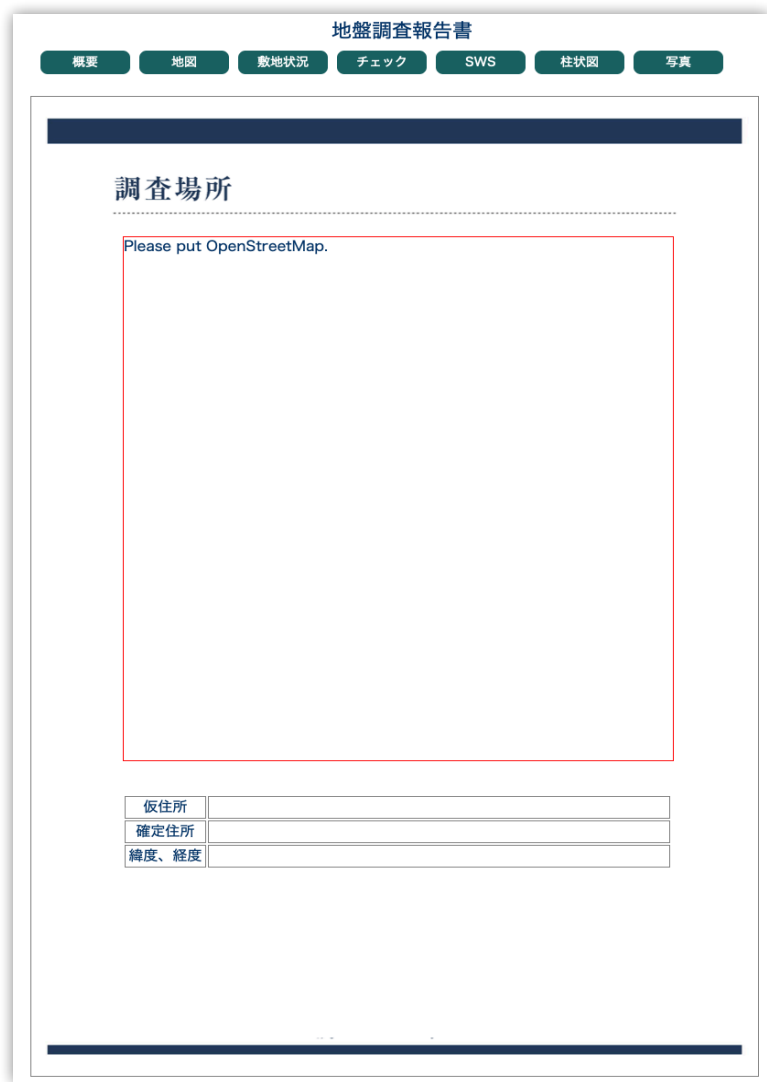
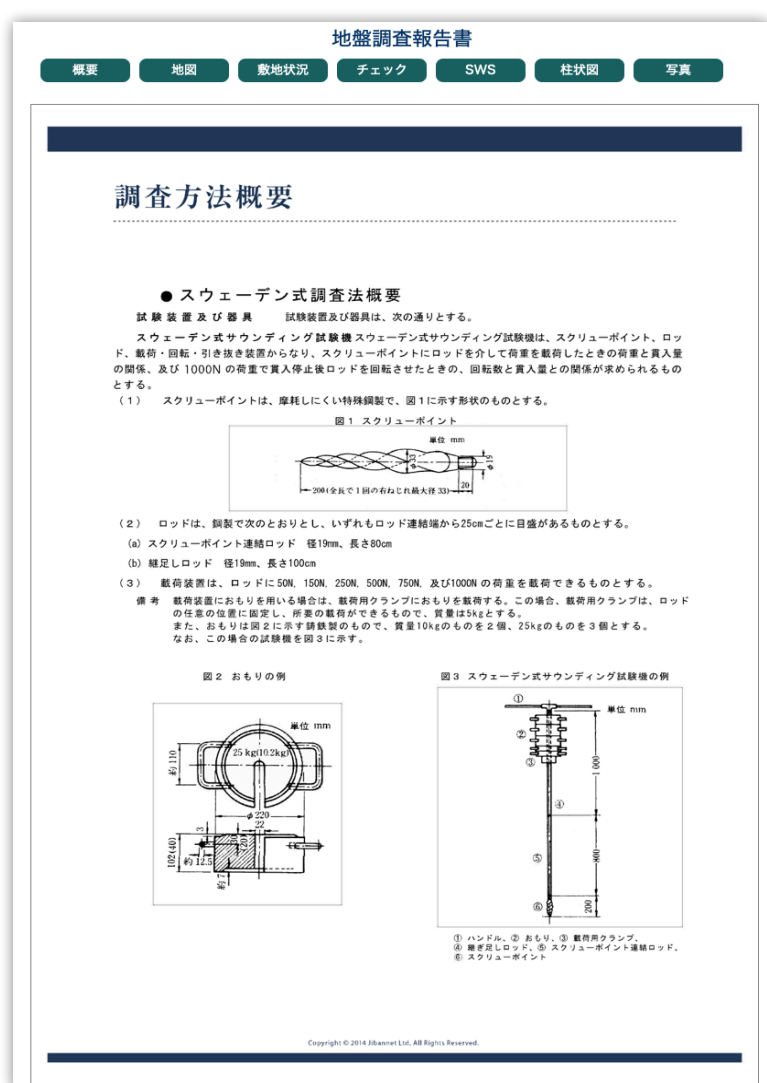
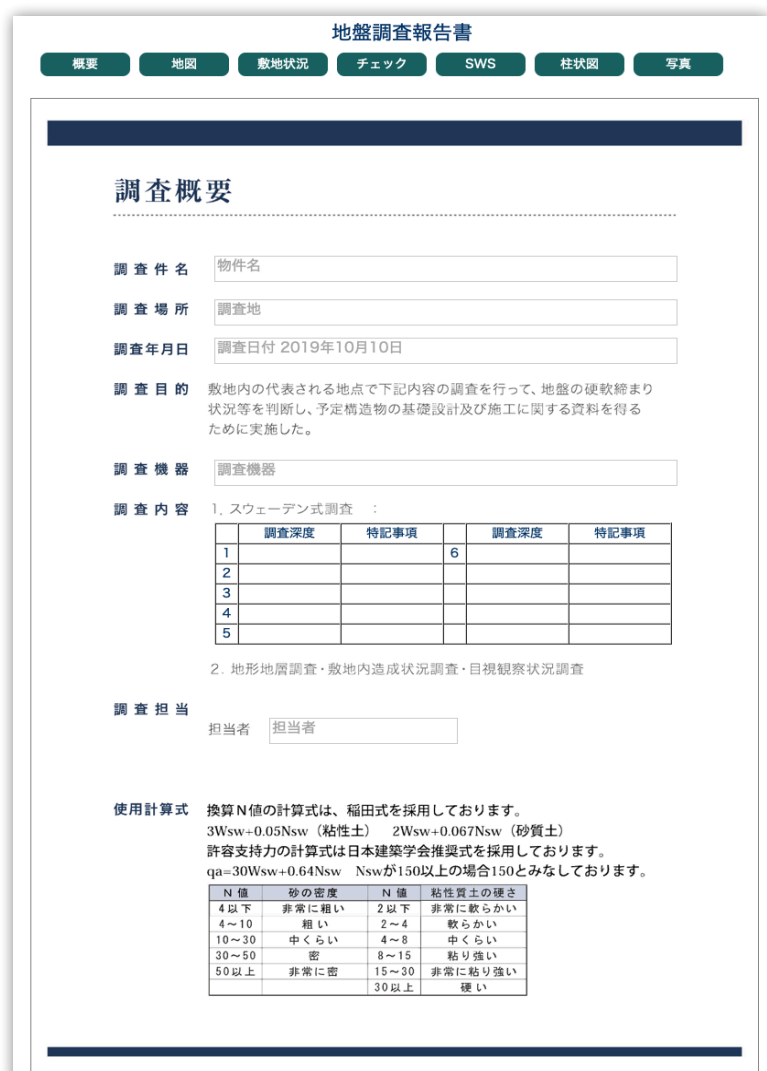
これは旧SJSにはない、新しい機能です。
従って、あたらしいDB-table を作ります。
この点を念頭に、ファイル名、フィールド名を決めてください。

各ページごとに、メモを書きました。
不明な点は、いつでもメールください。

裏側の画像は、鮮明なものに差し替えます。

印刷可能で、print.css で印刷しない部分はナビゲーターなど、display: none にして印刷しません。簡単な方法です。

ところが、この報告書を1ページから17ページまで連続して印刷できません。
何か方法を考えますが、アイデアがあれば教えてください。



調査報告書は
地盤調査のすべてのデータを記載する一次データ集

調査現場で記入する項目
1) 物件情報（新方式とする）
2-1) SWSデータを自動記録するタイプ（少数）
2-2) SWSデータを調査員が紙に記入するタイプ（多数）
の二つの方式がある

調査報告書は現場ではメモ書き
事務所に戻ってから
3-1) 調査した本人が作成
3-2) 調査会社のスタッフが現場のメモを元に作成
の2通りがある。

この調査報告書はHTMLデータを基本として
工事判定の一次資料として参照される。
また、プリント出来るようにする

← 調査対象と日付は自動挿入

← 申込書から自動挿入

← 調査内容はSWSを扱う時に自動挿入

← 調査担当を記入

← このままで完成

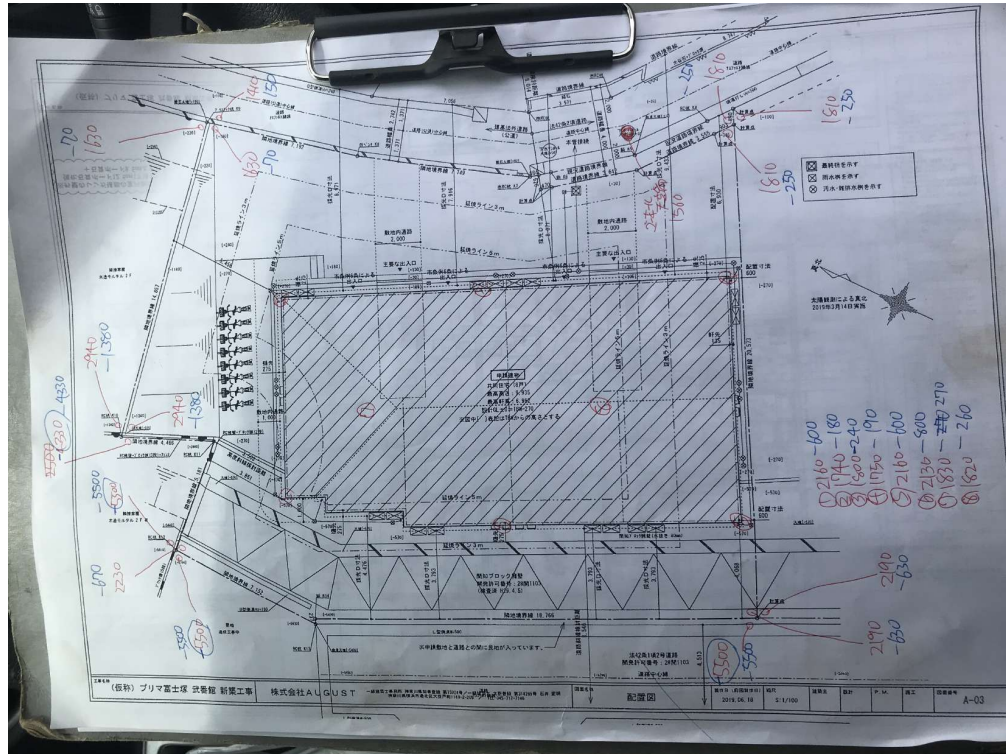
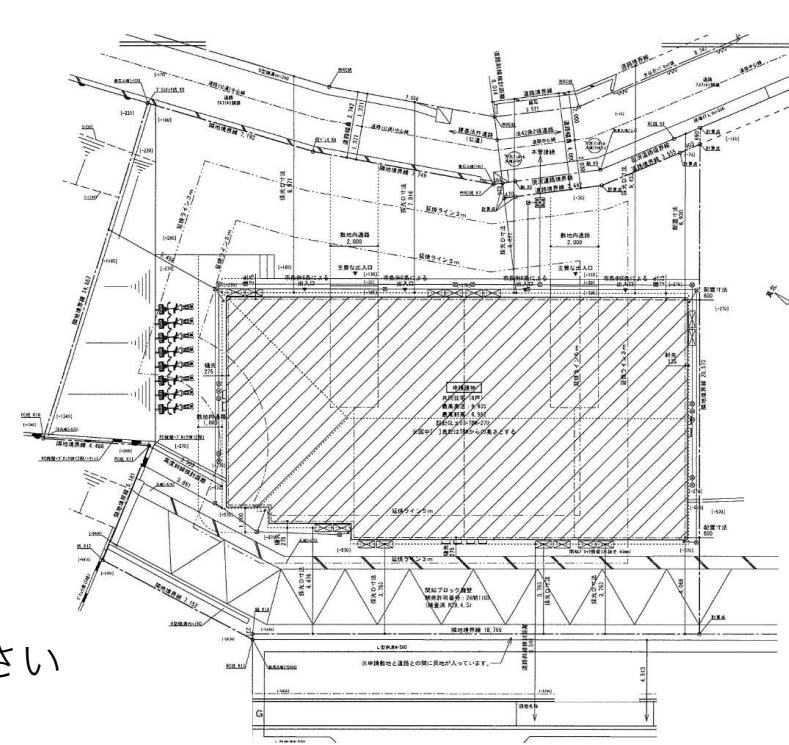
← 「申込書」の物件情報を元に
緯度経度から map を表示
ブラウザのマップ表示と同じ

← 緯度経度から調査申込物件を特定
物件情報などを取得

新規造成の場合、住所の番地が確定していない
場合がある。そのため、住所を基準とせず、
緯度経度を元に地図を表示する

← 「申込書」の物件情報にデータがあれば流用
無ければ後で追加
調査担当者が入力、または調査会社のスタッフが
作成する

← (~ m) () は数字を記入できるようにしてください
距離の欄も数字を記入できるように

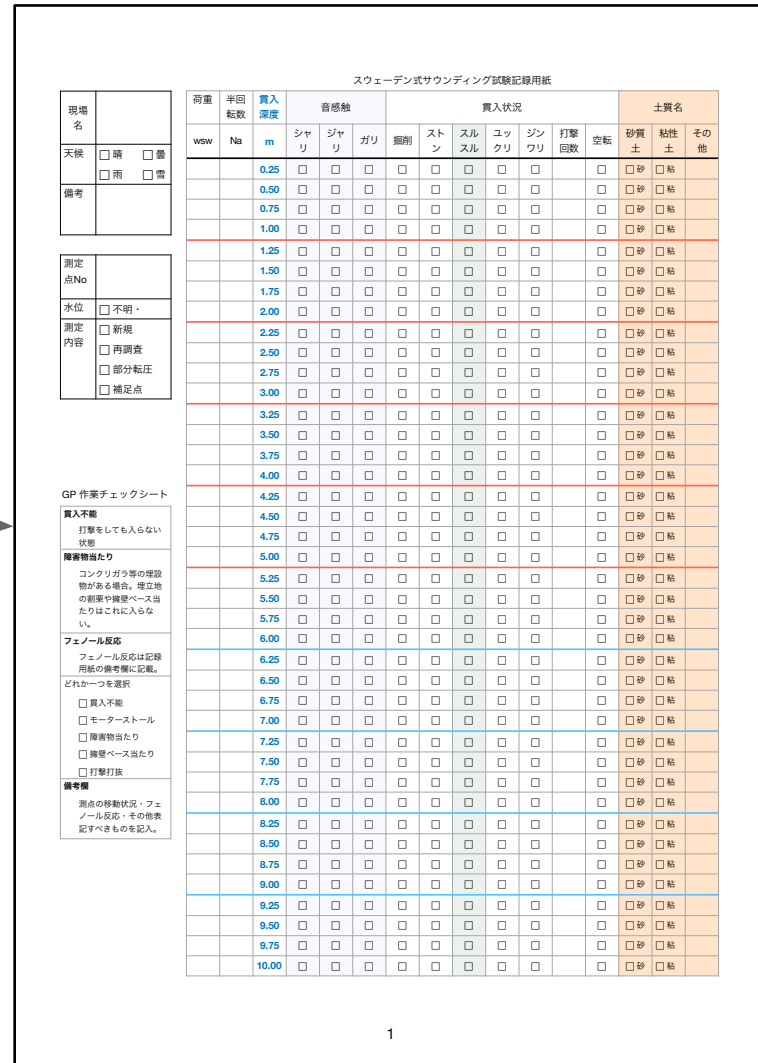


← ☐ はチェックボックスにしてください
_____ は言葉を記入できるように

手入力画面

← 右のような手書きのデータを
転記=入力する
(本人または調査会社のスタッフ)
この手入力画面は別途用意します。

← 自動で記録されるタイプは
データをSJSに転送
その後、左の様式に沿って
出力する
データは「SWS予測システム」
と同じはずです。



report.xlsx

← 柱状図はSJSで自動作成

← 写真をリンク、表示できるようにしてください
file manager でも drag&drop でも。
写真は全て表示するように納めてください

緑のバーのタイトル表示は、変更可能にしてください。

画像データはストレージ・サーバーに保管
画像のファイル名は、ユーザーは日本語を使うので
実際の画像ファイル名（英文）は異なります。
一度アップロードしてしまえば、ファイル名は表示しないので
アップロード時に、ファイル名を英文に書き換えて管理して
いいですよ。
例) 投信現場ー北西全景.jpg → 秒タイムスタンプ.jpg
(秒タイムスタンプは重複しないので)